

# 栗田工業株式会社

## 平成14年3月期決算説明会

平成14年5月10日



### 決算説明会資料目次

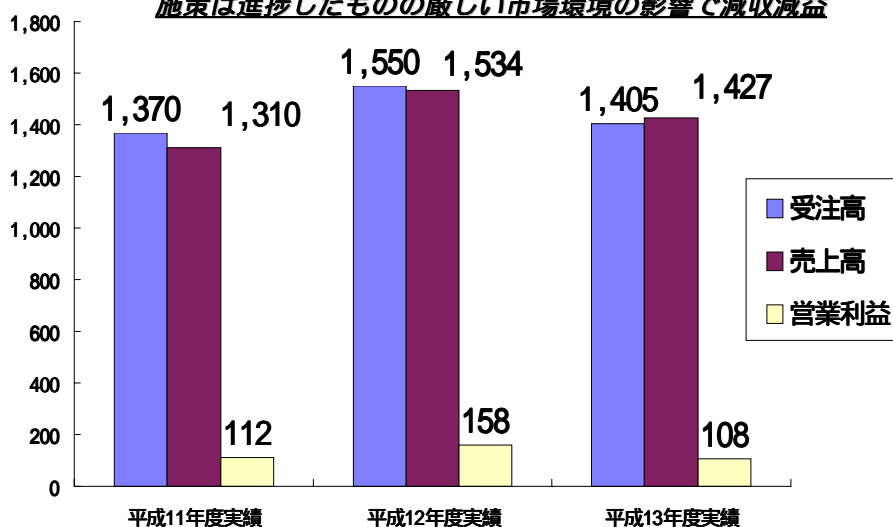
平成13年度概要	・・・2～3
平成13年度業績	・・・4～5
平成14年度事業計画	・・・6～7
セグメントごとの実績・計画推移	・・・8～9

## 平成13年度概要（市場環境）

- ・ 全般  
設備投資の抑制、消費の低迷など国内景気は悪化
- ・ 薬品部門  
稼働率低下、値下げ要求により厳しさを増す
- ・ 電子産業部門  
設備投資の冷え込み、稼働率低下により市場縮小
- ・ 一般装置部門  
設備投資の伸びは総じて低調
- ・ 環境施設部門  
予算縮小・競争激化により市場縮小

## 平成13年度概要（業績）

（単位：億円）  
 施策は進捗したものの厳しい市場環境の影響で減収減益



## 平成13年度概要（経営施策）

- グループ力強化の推進
  - ・ 土壌浄化関連会社「ランドソリューション(株)」設立
  - ・ メンテナンス会社「クリテック・シンガポール社」設立
  - ・ メンテナンス会社「クリテック上海社」設立
  - ・ 薬品製造会社「(株)栗田製造所」合併を決定  
(平成14年4月1日に合併)
- 新環境事業を創出
  - ・ 焼却炉解体事業に進出
- 単元株の引き下げを決定(1,000株 100株)  
(実施は平成14年7月1日)

## 平成13年度概要（施策）

- ・ 薬品部門：  
契約型商品の拡大などで稼働率低下をカバー  
(ただし薬品出荷量は減少)
- ・ 電子産業部門：  
中国・台湾・東南アジアの営業体制を強化するものの、  
国内の事業環境悪化をカバーできず
- ・ 一般産業部門：  
注力分野のうち医薬・土壌は堅調。食品分野は低調。
- ・ 環境施設部門：  
既設客先の改造・メンテ提案を中心に取り組むものの、  
業績伸長せず

## 平成13年度決算概要 (PL)

(単位：億円、%)

	平成 12 年度 実績	平成 13 年度 実績
受注高	1,550	1,405
(前年比増減率)	(+ 13.1%)	(- 9.4%)
売上高	1,534	1,427
(前年比増減率)	(+ 17.1%)	(- 7.0%)
(売上原価率)	(68.8%)	(69.4%)
営業利益	158	108
(前年比増減率)	(+ 41.2%)	(- 31.6%)
経常利益	171	116
(前年比増減率)	(+ 44.3%)	(- 32.3%)
特別損失	29	25
(前年比増減率)		
税引前当期純利益	147	91
(前年比増減率)		
当期純利益	84	57
(前年比増減率)	(+ 80.0%)	(- 32.1%)

## 平成13年度決算概要(セグメント情報)

### 部門別受注高

(単位：億円)

			平成 12 年度受注高実績	平成 13 年度受注高実績
薬品 (前年比)			466 (+ 3.1%)	470 (+ 0.9%)
装	民需	電子産業 (前年比)	534 (+55.6%)	364 (▲31.8%)
		一般産業 (前年比)	296 (+ 3.5%)	329 (+11.2%)
	官需	環境施設 (前年比)	254 (▲12.7%)	242 (▲ 4.7%)
置 計 (前年比)			1,084 (+18.1%)	935 (▲13.7%)
合 計 (前年比)			1,550 (+13.1%)	1,405 (▲ 9.4%)

### 部門別売上高

(単位：億円)

			平成 12 年度売上高実績	平成 13 年度売上高実績
薬品 (前年比)			457 (+ 0.4%)	463 (+ 1.3%)
装	民需	電子産業 (前年比)	487 (+58.1%)	380 (▲22.0%)
		一般産業 (前年比)	315 (+ 1.6%)	304 (▲ 3.5%)
	官需	環境施設 (前年比)	275 (+16.0%)	280 (+ 1.8%)
置 計 (前年比)			1,077 (+26.0%)	964 (▲10.5%)
合 計 (前年比)			1,534 (+17.1%)	1,427 (▲ 7.0%)

## 平成13年度決算概要(セグメント情報)

### 部門別営業利益

(単位: 億円)

		平成12年度営業利益実績	平成13年度営業利益実績
薬品(前年比)		66(+4.8%)	63(▲1.6%)
装	民需	電子産業(前年比)	46(+109.0%)
		一般産業(前年比)	19(+58.3%)
量	官需	環境施設(前年比)	27(+80.0%)
		計(前年比)	92(+18.1%)
合計(前年比)		158(+41.2%)	108(▲31.6%)

### 部門別営業利益率

		平成12年度営業利益率 実績	平成13年度営業利益率 実績
薬品(増減%)		14.5%(+0.7)	13.5%(▲1.0)
装	民需	電子産業(増減%)	9.4%(+2.3)
		一般産業(増減%)	6.0%(+2.0)
量	官需	環境施設(増減%)	9.8%(+3.8)
		計(増減%)	8.5%(+2.8)
合計(増減%)		10.3%(+1.7)	7.6%(▲2.7)

## 平成13年度決算概要(BS)

(単位: 億円、%)

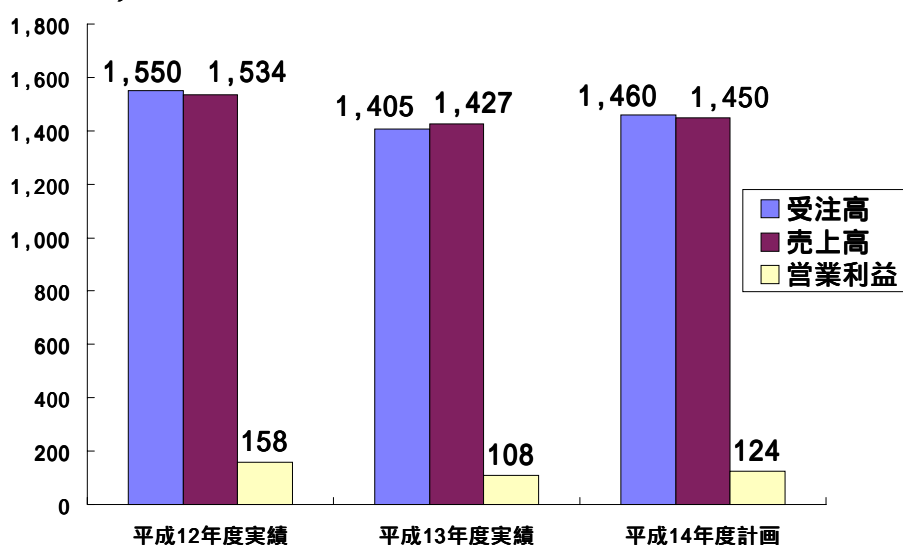
	平成12年度 実績	平成13年度 実績
総資産	1,832	1,721
株主資本	1,192	1,226
株主資本比率	65.1%	71.2%
1株当たり株主資本	900.78円	926.45円

## 平成14年度事業計画（市場）

- ・ 全般  
急激な景気回復は見込めない
- ・ 薬品部門  
石油・鉄鋼市場は縮小傾向。その他の市場も厳しい
- ・ 電子産業部門  
年度後半に液晶を中心に回復見込むものの先行き不透明
- ・ 一般装置部門  
市場全体は横ばい。医薬・食品・土壌分野を中心に組み  
組む
- ・ 環境施設部門  
予算規模縮小の見込み。ダイオキシン対策措置法による  
市場拡大に期待

## 平成14年度事業計画

(単位: 億円)



## 平成14年度事業計画（経営施策）

### EV-2計画「新生クリタの創造」の集大成

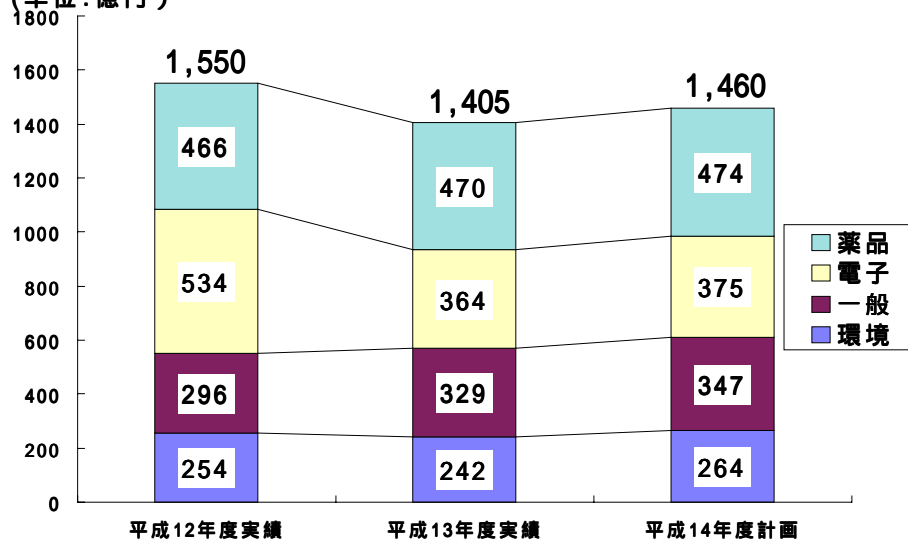
- ・ 事業推進力の強化
- ・ グループ力強化  
資産効率・事業効率の追求
- ・ 本社機能の強化  
経営方針の徹底  
E R P稼動
- ・ 総コスト低減  
生産・物流体制の最適化

## 平成14年度事業計画（事業施策）

- 事業推進力の強化（売り方を変える、売るものを変える）
  - ・ 薬品部門  
契約商品の拡大による収益確保と新規市場の開拓。
  - ・ 装置部門  
<ハード>  
環境対策商品の開発。  
レディメイド、機能水の拡大。  
<ソフト>  
運転管理請負契約・超純B O Oなどの拡大に取り組む。
- ・ 新事業  
燃料電池関連事業  
環境修復事業（焼却炉解体事業・ダイオキシン処理事業）  
廃棄物再資源化事業（乾式メタン発酵装置など）

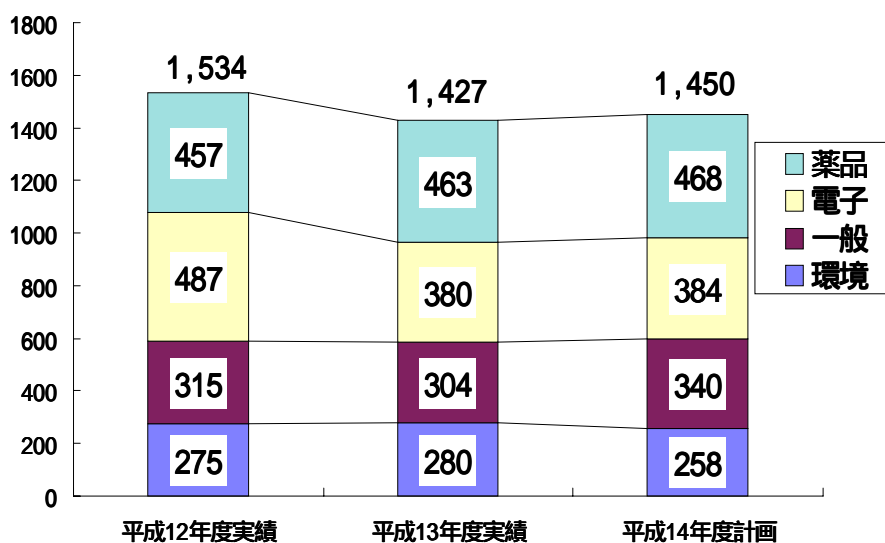
## セグメントごとの受注高

(単位: 億円)



## セグメントごとの売上高

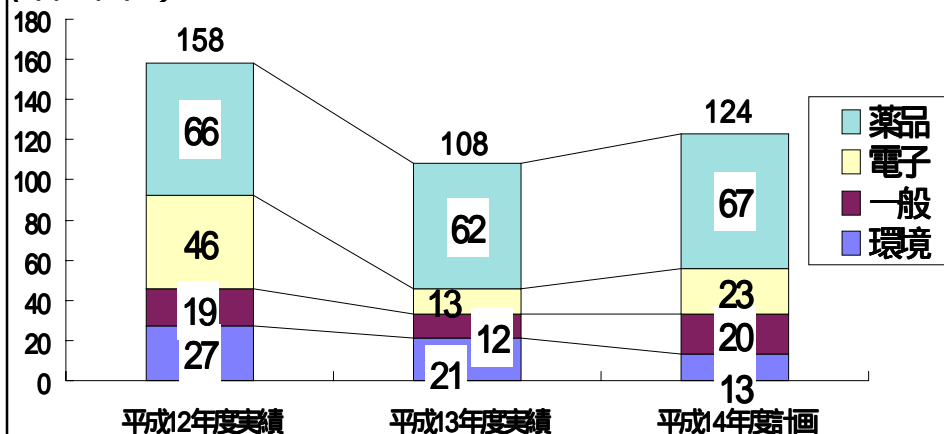
(単位: 億円)





## セグメントごとの営業利益

(単位:億円)



## セグメントごとの営業利益率

(単位:%)

		平成 12 年度 実績	平成 13 年度 実績	平成 14 年度 計画
	薬 品	14.5 %	13.5 %	14.3 %
装 置	電 子	9.4 %	3.5 %	6.1 %
	一 般	6.0 %	3.8 %	6.0 %
	環 境	9.8 %	7.5 %	5.1 %
	装置計	8.5 %	4.7 %	5.8 %
合 計		10.3 %	7.6 %	8.6 %